

19

外務省

5-1 2 5 4

0 127

要再四

急

第門

文書課長

長檢印

大正七年五月七日 接受

38

淨書 校正 原

大正七年五月七日起草
同年五月八日附

送第

四九〇
號

大正七年五月七日 檢印

主任 第二課 職務

主管政務局長

棉原次官

岡田敬言視監宛

淺草書業館ニ於テ近日

公開セラルヘキ戦時、独逸ト

題スル活動映画、内容ニ関スル件

在在印台耳事、
本印台耳事、

本月五日、國民此夕廣告欄

ニ依リ、淺草書業館ニ於テ戦

時、独逸ト題スル活動映画近

日公開ノ豫告有之、其要左ニ独

逸ノ、フプロバガンド、事業ニ関聯

スルモノトモ推察セラレ、既テハ

本件映画、内容ニ取テ、且、物

事、儀、至急、由、国、示、お、煩、度、此、致、

（右中着し左様、使向う有
三有之
かこ
お当
成務
（左）

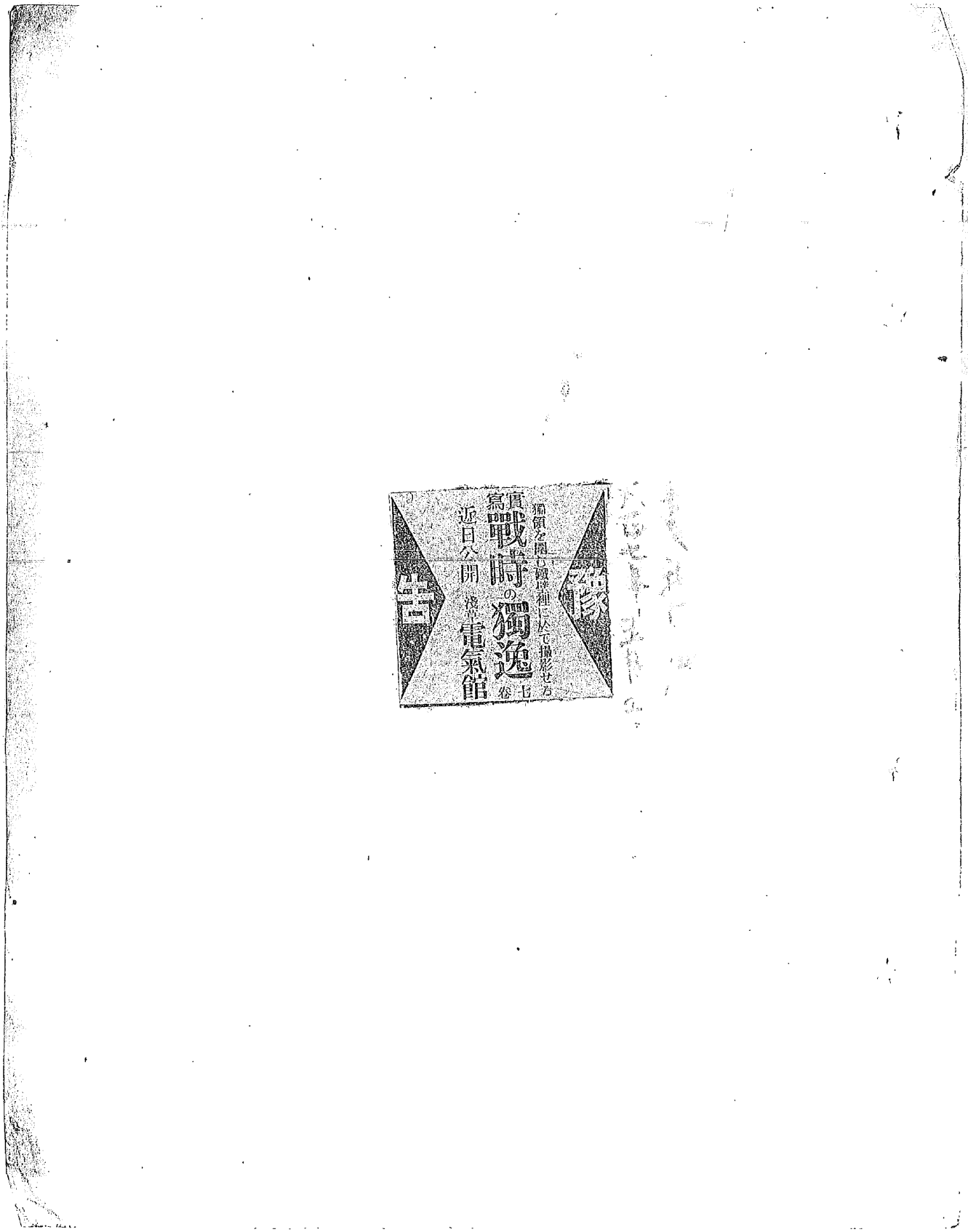
外務省

及照會其也

外務省

5-1 2 5 4

0129



獨逸の戦時生活
戦時生活の獨逸
近日常開 電気館

5-1 2 5 4

0130

附屬書類添附

大正七年五月十四日發

警務局

第三課

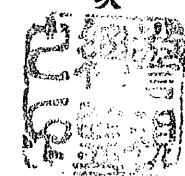
甲保第六一八號ノ二

大正七年五月十三日

警視總監 岡田 文

次

外務次官 幣 原 喜 重 郎 殿



受13352號

淺草電氣館ニ於テ近日公開セラルヘキ「戰時ノ獨逸」ト題スル活動映畫ノ内容ニ關スル件

本月七日政第四〇九〇號ヲ以テ御照會ニ係ル標記ノ件取調候處右映畫ハ目下大阪方面ニテ興業中ニ有之當地ニ於テ公開セラル、ハ來ル二十日以後ニ可相成ト被思料候而シテ本件映畫ハ獨逸若ハ其同盟國ニ利益ヲ與ヘ又ハ聯合國ニ不利益ヲ被ラシムルカ如キ趣旨ニ出テタルモノニ無之從テ獨逸ノ「プロパガンダ」事業ニ關聯スルモノト難

認候モ尙映畫當地著次第更ニ調査致ス筈ニ有之候右不取敢及回答候也

追テ別紙「戰時ノ獨逸」筋書御參考迄ニ添附致置候

米國シエルマニツクウォー、フィルム會社撮影
實寫戰事ノ獨逸
Behind The Enemy's Lines

全七卷 六四四九頁

敵線ノ後部
獨逸ノ秘密生存物
戰事ノ獨逸
(原名)

第一卷 緒言

(一) 萬難ヲ排シ獨逸ヨリ齎セル此連續セル映畫ハ獨逸ヲ圍繞セル鐵壁裏ノ種々ノ地点ヨリ撮影サレタリ、斯カル有様ガ攝影器ニヨリテ証サレシハ數月前マテノ實況ナリ
(二) 彈効シ難キ証據ノ外ニ本國ニ於ケル獨逸式出師ノ機軸欺瞞ヲ提供シ吾人ガ此戰争ニ對抗シテ準備セザル可カラザル處ヲ明カニ吾人ニ示ス
(三) 戰爭ガ獨逸民ニ蒙ラセタル狀況ヲ此處ニ証出シテ嚴酷兇猛ナル真相ト我が個人的及國家的財原ノ注意周到ナル保護及經濟的ナル軍備ヲ以テ吾人自ラヲ防衛スル焦眉ノ必要ヲ吾人ニ實認セシメヨ
(四) 目下ハ唯一一致ノ行動ニ因リテノミ吾人ハ戰禍ノ充分ナル悲劇的通行稅ヲ拂フコトヲ避ケ能フモノナリ
(五) 獨逸國ニ於テラ男性力ノ缺乏セルカハ獨逸式出師準備以來柏林市街ノ現況ヲ示ス
(六) 凡テ市内ノ改良ハ職工ノ欲之ヨリ放任サル當前ニ船ヲ蒐集サレタル「スフレ」河

(六)(五)(四)(三)

(七)

(八)

(九)

(一〇)

(一一)

(一二)

(一三)

(一四)

(一五)

(一六)

(一七)

(一八)

本國ニ於ケル獨逸式ノ欺瞞
特設サレタル一局ハ獨逸人民ガ知ルベキ事ト知ルベカザルコトヲ決定ス、詭譎ナル手段ハ獨裁權ノ慾望セル公論ヲ構成シテ行政ノ缺點ト誤謬トヲ瞞着ス
獨逸者ハ英國ノ取レル封鎖ヲ崩倒シテ獨逸ノ非戰團員ノタメ米國ヨリ抗議セシメント金ヲタル時獨逸ノ特設局ハ英國ガ吾人ヲ飢餓ニ陥ラシメリ救助シ給ヘト記セル其人達ノ給糧書ヲ數多配付セシメタリ
民心ヲ強固ナラシムル爲メ多量多種ノ食料品ガ「ヘルリン」ニ於テ開示セラレタリ
戰争ノ氣象ヲ獎勵センガ爲メ最モ嚴シキ歩兵ノ分隊ガ人民ノ眼前ニ誇示サル
「フオン、ヒンデンブルヒ」ノ明星降下シ初ムル前獨逸ハ愛國ノ病的暴發ニ於テ「ヘルリン」内ヘ該將軍ノ巨大ナル木像ヲ建設シ全表面ガ金屬ヲ以テ覆ハル、マデ獨逸人ハ誰レニテモ敬意ヲ表スルタメ一釘ヲ此像ニ打込ムヲ得然シナガラ最初ノ突進ノ後釘打人ハ追々減少シ現今ニ至リテ政府ハ此目的ヲ成功セシムベキ釘ノタメ金屬ヲ節約スルヲ得ズ
軍ノ德義ハ「クルタル」ニ因リテ發露サル而シテ獨逸自身ニ其模範ヲ示セバ兵士ニ帝ノ容姿ヲ示シ戰地ヨリ他ノ戰地ニ繁忙ナル突進ヲ爲シ激シキ熱心ヲ生ゼシメザルモ彼及ビ其參謀ハ恐怖ノ十分ヲ代表ス
「ヴァロンセヒン」附近ニテハ獨逸式ハ光華ヲ示ス
(一) 一九一七年九月十日同盟軍ノ概算ニテハ戰争當初以來獨逸ハ一十萬人ヲ召集セルニ其内死傷、捕虜ニテ四百萬ヲ失ヒタルヲ示ス
(二) 此洪大ナル動員令ヲ執行スルニ就キ獨逸ハ正當ニ免除サレタル人ヲモ選拔シタリ然シ獨逸ノ婦人ハ目前ノ大義務ヲ實認シ事變ニ處スル爲メニ起テリ
(三) 米國軍ノ全力ヲ戰場ニ注グ際ニハ我が婦人モ同一ノ兇猛ナル必要ニ面スルナランモ決シテ人後ニ立ツ如キハアラザルベシ然シナガラ現今ハ其時代ニ對抗シテ準備スベキノ時期ナリ
(四) 斯ノ如キ保護政略ト併行シテ獨逸ノ殘忍ハ同盟軍捕虜ノ運命ヲ悼ハシキモノト爲セリ、人間生活ニ要スル最小量モ彼等ニ對シテハ吝カニ交付サル
(五) 第一卷ノ終

第二卷

(一) 今日ノ獨逸國ト其軍、帝國獨逸政府ノ認可セル最初ノ畫報
(二) 内外ニ尊重サレタル勇敢ナル飛行家「ベルケ」ニ對スル獨逸ノ著ルシキ稱揚
(三) 「ベルケ」大尉ハ「カンフレイ」ニテ戰死シ敵軍ヨリモ花輪ヲ贈ラレタリ
(四) 「ベルケ」ノ遺物ハ「カンフレイ」ノ寺院ヨリ移サル
(五) 各方面ノ戰地ニ於ケル數聯隊ヨリ代表者ヲ派出サレタリ
(六) 本飛行家ノ有セル數多ノ勳章ハ葬列中ニ荷ハル
(七) 停車場ニ於テ
(八) 「カンフレイ」地方ノ總司令官「フオレペロツ」閣下ハ墜落死セル勇者ノ遺族ヲ吊慰ス
(九) 「ウンスドルフ」ノ「マホメット」教ノ捕虜收容所ニ於ケル「ペイラム、フェイト」
(一〇) 捕虜中ニハ數多ノ異ナル國民在リ「ウイルヘルム」帝ハ自國ノ習慣ニテ神ヲ拜スルヲ許容セルノミナラズ獎勵スルニ至レリ
(一一) 「マホメット」教ノ捕虜ノ爲メ特ニ建設セラレタル教堂
(一二) 土耳其國捕虜ノ收容所
(一三) 「ウインベルヒ」收容所ニ至ル途中
(一四) 「アルジリア」人
(一五) 東印度人
(一六) 「マホメット」教ノ僧侶ノ執行セル教禮
(一七) 犧牲ニ供セラレタル羊
(一八) 「ボルスタイル」公及ビ「ヘルリン」駐劄土耳其大使ハ客タリ
(一九) 東印度人收容所
(二〇) 宗教ノ儀式ト舞踏
(二一) 第二卷ノ終 第三卷

(二)

(三)

(四)

(五)

(六)

(七)

(八)

(九)

(一〇)

(一一)

(一二)

(一三)

(一四)

(一五)

(一六)

(一七)

(一八)

(一九)

(二〇)

(二一)

(二二)

(二三)

(二四)

(二五)

(二六)

(二七)

(二八)

(二九)

(三〇)

此人人々ハ決シテ獨逸ヲ忘ル、無カルベシ、家著ノ如ク彼等ハ收容所ニ群集サル其收容所ハ數千ヲ詰ムルニ足ラザル所ナリシ
獨逸ノ科學ハ捕虜専用ノ珈琲代用、液体ヲ調製シタリ唯其價値ハ厚キニアリ
捕虜ノ麵飽ハ特種ノモノニテ成分及消化ヲ輕視ス
科學的「スーパ」ハ隔日ニ與ヘラル故ニ人々ハ餘計ニ其ヲ渴望ス又其ヲ受クル器物ニ就イテモ騒ギ立テス
獨逸ヲ國際公法外ニ爲セル殘忍ノ一例ハ捕虜ノ大數ハ人間ノ一安撫モアラヌ「カンフレイ」ノ街ノ石上ニ存在ス
雨水加ハリテ「スーパ」ノ量ヲ増スハ不幸者ニ對スル獨逸ノ惡戯ナリ不幸者ハ見テ苦笑スルヨリ他ナシ
我々ガ見テ激シキ反照ト感ズルハ糧食中心ナル「リール」ニ於ケル獨逸軍ノ糧食ナリ此レハ非軍人ニハ充分知ラシメラレズ
種類ノ豊富ナルコト然シ英國ノ封鎖ハ婦人小兒ヲ飢餓ニ陥シ入レツ、アリト執拗ニモ獨逸ハ揚言シテ中立國ノ同情ヲ得ント勉メタルヲ何人モ忘却シ能ハザリシ
匈奴人「ソーセイジ」ハ忘ル可カラザルモノ
獨逸ヘ積荷ノ副産物タリ
斯ノ如ク兵士ニハ食料ヲ充タシ置キテ非軍人

文書課長

要再回

大正七年五月十四日
同 年 月 日 起草
附

要翻譯

送第

號

主任第二課

羊信

主管政務局長

後藤 芳郎

立本邦

白耳義公使宛

浅学重業饒ニ於テ近日公宛

セラルヘキ「戦時」独逸トト題スル

活動映画、内容ニ関スル件

外務省

以テ前記事項陳者亦月六日附

光覚書ヲ以テ浅学重業饒近々公

宛セラルヘキ「戦時」独逸トト題スル活

動映画、内容ニ関シテ申請越、越改

敬承其右ハ早速冥係皮麻ヘ及後

牒呈其後今般全皮麻ヨリ本件

ニ関シ取調ヘタルニ本件映画ハ米玉

「ジェルマニック・ウー・フィルム」會社、撮

升村先生宛
名義由
浅学重業饒
「戦時」不
（内務省）
三手
書達
（内務省）
三手
書達

影ニシテ原名ヲ。Behind the Enemy's Lines。ト稱
 シ目下大坂方面ニ於テ興業中ニシ
 テ東京ニ於テ公罷セラルルハ本月二
 十日以後ナルヘク而シテ本件映画
 ハ独逸若ハ其ノ同盟者ノ利益ヲ興
 へ又ハ其ノ利害ヲ損ハスルヲ以テ
 此ノ如キ趣旨ヲ出テタルモ其ノ非ス
 ルハ其ノ人ノ勝手なり予ウ確信有リ
 然レモ其ノ事ニ付テハ
 従テ独逸ノフアパガントノ事業ニ突

外務省

朕スルモノトハ認メ難キ事ナリ
 東京若シテ其ノ利益ヲ損ハスル
 旨回答有之共ニ就テハ右様ナリ
 知お奉度此旨ニ應答申進
 市木氏ニ示シ奉ル
 其ノ教

les résultats:

de film cinématographique dont il s'agit
a été crée par ^{une} ~~la~~ Compagnie américaine
nommée "Germanic War Film"; il a pour
titre "Behind the Enemy's Lines". Il
se joue en ce moment à Osaka et ne
sera présenté au public de Tokio qu'après
le 20 courant.

Ledit film contient même des tableaux
représentant des actes de sauvagerie de
la part des Allemands et ne pourrait

qu'en être considéré comme un organe
de la propagande allemande.

Veuillez agréer, Monsieur le Ministre,
les assurances de ma haute considération.

Signé: H. B.

Vau Excellence

Monsieur le Comte Georges della Paille

de Leverghem. ^{Envoys} ~~etc~~ ~~etc~~ Belgique
Ministre de

秘

再
回

文書課長

⑧

t.b.

政務局長

大正七年五月

第二課

大正七年五月十七日發送

Tokio, le ¹⁷ mai 1918.

Messieurs le Ministre.

御面下

Par une notice en date du 6 de ce
mois, Votre Excellence a bien voulu attirer
mon attention sur des représentations
cinématographiques qui doivent avoir lieu
~~au Japon~~ dans l'établissement Den-
ki-kwan à Asakusa.

L'autorité compétente que je m'étais
empressé de saisir de la question, a ouvert
à ce sujet une enquête dont voici



 Le journal Kokumin Shinbun
 du dimanche 5 Mai 1918 contient
 une réclame annonçant qu'une
 série de représentations cinématogra-
 phiques, sur l'Allemagne pendant
 la guerre, va avoir lieu sous peu dans
 l'établissement Denki-Kwan, à
 Atakuta, Tokio. Ne s'agit-il pas d'une
 œuvre de propagande allemande? Even-
 tuellement des mesures devraient être
 prises d'urgence car l'exhibition doit,
 d'après l'annonce, commencer à bref délai.

6 Mai 1918

部中
重三
出重
毎部
類部
書目
鑑頭
又出
門部
子部
掲示

Journal Kokumin Shinbun
du 5 Mai 1918 contient
une annonce qu'une
présentation cinématogra-
phique en l'Allemagne pendant
va avoir lieu sous peu dans
le sent Jemki - Kwan, à
Kio. Ne s'agit-il pas d'une
propagande allemande? Euen-
t des mesures devraient être
prises car l'exhibition doit,
malheureusement à bref délai.
6 Mai 1918

en question. Je viens par conséquent vous
demander de bien vouloir prendre d'urgence
les mesures nécessaires pour empêcher que
mon intervention, ou celle de la Légation,
soient citées dans les réclames, dans les affiches,
dans les explications données au cours des re-
présentations, ni d'aucune autre manière,
par ceux qui montrant ces films.

Recevez je vous prie, mon cher Monsieur
Ridgway, mes excuses pour le dérangement
causé, et l'assurance de mon entier dévouement.

L. de la Baillie

P.S. ci-joint annonce d'une nouvelle

serie de représentations commençant ce soir
à 6 heures.

Ap.

Tokio, le 17 Mai 1918

Urgent et confidentiel

Mon cher Monsieur Hidaka,

Par l'article de journal ci-joint,
je vois qu'il a été porté à la connaissance
du public que j'ai signalé à l'attention
des autorités, la représentation cinématogra-
phique concernant l'Allemagne, dont je
vous ai parlé au début de ce mois. Je
crains dans ces conditions, que mon in-
tervention puisse être exploitée pour réclamer
en faveur des exhibitions ultérieures des films

1918
1918
1918

Mon cher Monsieur Hidaka,

Par l'article de journal ci-joint,
je vois qu'il a été porté à la connaissance
du public que j'ai signalé à l'attention
des autorités, la représentation cinématogra-
phique concernant l'Allemagne, dont je
vous ai parlé au début de ce mois. Je
crains dans ces conditions, que mon in-
tervention puisse être exploitée pour redonne
en faveur des exhibitions ultérieures des films

要再回

文書課長



大正七年五月十八日接受

大正七年五月十八日接受

大正七年五月十八日起草

同月十八日附

大正七年五月十八日發送

符

機密送第二二號

主任第二課

主管政務局長

幣原次官

岡田啓視監完

海軍省素波ニ於テ近日公完

セラルキ我時独込ト顯スル活

動映東ノ内容ニ冥スル件

外務省

本件ニ冥シ本月十二日附甲保才六

一八號ニヲ以テ取回復ノ次第有之故

変更ニ今般立本邦自耳我公使ヨ

リ本件映画ハ生ノ筋ニ於テ既ニ生

興行許可ヲ與ヘタルニモ不拘自耳

義公使彼ヨリ本議ニ基キ生興

業差止メノ通告ヲ發シタリ云々ノ記

事ヲ掲記シアル本月十七日ノ諸費

手付金
一應 井出
政三 澤島
ラニ 堀江
二 藤岡 澤島
三 藤岡 澤島
四 藤岡 澤島
五 藤岡 澤島
六 藤岡 澤島
七 藤岡 澤島
八 藤岡 澤島
九 藤岡 澤島
十 藤岡 澤島
十一 藤岡 澤島
十二 藤岡 澤島
十三 藤岡 澤島
十四 藤岡 澤島
十五 藤岡 澤島
十六 藤岡 澤島
十七 藤岡 澤島
十八 藤岡 澤島
十九 藤岡 澤島
二十 藤岡 澤島
二十一 藤岡 澤島
二十二 藤岡 澤島
二十三 藤岡 澤島
二十四 藤岡 澤島
二十五 藤岡 澤島
二十六 藤岡 澤島
二十七 藤岡 澤島
二十八 藤岡 澤島
二十九 藤岡 澤島
三十 藤岡 澤島
三十一 藤岡 澤島
三十二 藤岡 澤島
三十三 藤岡 澤島
三十四 藤岡 澤島
三十五 藤岡 澤島
三十六 藤岡 澤島
三十七 藤岡 澤島
三十八 藤岡 澤島
三十九 藤岡 澤島
四十 藤岡 澤島
四十一 藤岡 澤島
四十二 藤岡 澤島
四十三 藤岡 澤島
四十四 藤岡 澤島
四十五 藤岡 澤島
四十六 藤岡 澤島
四十七 藤岡 澤島
四十八 藤岡 澤島
四十九 藤岡 澤島
五十 藤岡 澤島
五十一 藤岡 澤島
五十二 藤岡 澤島
五十三 藤岡 澤島
五十四 藤岡 澤島
五十五 藤岡 澤島
五十六 藤岡 澤島
五十七 藤岡 澤島
五十八 藤岡 澤島
五十九 藤岡 澤島
六十 藤岡 澤島
六十一 藤岡 澤島
六十二 藤岡 澤島
六十三 藤岡 澤島
六十四 藤岡 澤島
六十五 藤岡 澤島
六十六 藤岡 澤島
六十七 藤岡 澤島
六十八 藤岡 澤島
六十九 藤岡 澤島
七十 藤岡 澤島
七十一 藤岡 澤島
七十二 藤岡 澤島
七十三 藤岡 澤島
七十四 藤岡 澤島
七十五 藤岡 澤島
七十六 藤岡 澤島
七十七 藤岡 澤島
七十八 藤岡 澤島
七十九 藤岡 澤島
八十 藤岡 澤島
八十一 藤岡 澤島
八十二 藤岡 澤島
八十三 藤岡 澤島
八十四 藤岡 澤島
八十五 藤岡 澤島
八十六 藤岡 澤島
八十七 藤岡 澤島
八十八 藤岡 澤島
八十九 藤岡 澤島
九十 藤岡 澤島
九十一 藤岡 澤島
九十二 藤岡 澤島
九十三 藤岡 澤島
九十四 藤岡 澤島
九十五 藤岡 澤島
九十六 藤岡 澤島
九十七 藤岡 澤島
九十八 藤岡 澤島
九十九 藤岡 澤島
一百 藤岡 澤島

牝ヲ切抜ラ添へ未伴映画興行ニ
 対スル全公使ノ抗議ヲ以テ令致セシメ
 興行(行)廣告ニ(行)意ヲ示セラルルノ虞
 アルヲ付右映画興行ニ突スル牝ヲ
 廣告中ニ同様にナリ云々文句ヲ掲
 記シアル時又前題公使又ハ其ノ公使
 館ヨリ映画公使ニ対シ抗議申出ア
 リタルコトヲ映画ノ説明ニ當リ引利ス
 外務省
 (玉急)
 ルカ如キコト等ヲ阻止スル為メ高橋
 ヲ執ラレ度キ等別紙寫ノ通り申出
 有之共ニ然テハ委曲右ニテ有リ知
 上何分ノ儀至急此旨示知候度此
 取重ネテ及知會セ也

別紙五月十日付白事等公使等ノ次

片来初更添附ノ事

豆えん筆 ▲日本國が
「艦時の獨逸」
といふ活動寫眞は戰時、獨逸の海軍を嘲らし、獨逸人がかりたを示してゐる。▲イギリスの初め、エースケンビンの將軍、デヴィッド・ワグネルは、▲英國の海軍大臣が、頻りに出づ。▲其防衛に難い點の行の許可を與へ陸海軍の當局者達に申し見せて大いに悩まうつたが、突然興行相成らんといふ通告來ず。さうしてソリカがさ聞くと、自衛公使館から又一抗議書が來て再び取りつて、▲日本の婦士が委員は映寫と共に、▲日本の織女市氏に不平分岐致してなりまし。▲さうしてやつてゐる一面でもよく見える。▲古くよりある山嶺地の民に獨逸軍が食糧を與へる。さうなのので、さうな故から怪しがりやといふ。▲一九二九年の秋、▲これ近頃美國で乍目的に製造して「ウェベリン」の最近では、▲海軍の飛行船の船長の愛人が、船長と殊な行爲をなすを暴露するのを船舶中の飛行船に爆發させてしまふのは、▲廣告文にはよくよくこゝに革命起りとか、ソリカが、お役所があつたので、お役人様は眼な血のやうにして、政府に謀叛をする氣量などは無いとしてやりやうと思ふ氣になつた。活動寫眞では目下大いには面喰つてゐるこの話。

國問題 となり初日延期の處愈々十七日より開催 國問題

米國がエルマニツク、リカーフィルム社撮影

賜合覽

戰時の獨逸

萬死を冒して深く獨國內に潜入し、諸友の難を蒙りたり。二月前に歸米せざるもの商人も、學生も、婦人も、利し難遇を散せざる國長は見逃すべからざる對策にして、實に獨國內の秘密に歴々として、膝露せり。方る

メトロ、ビグテュニア、會社新作

社會劇『宿怨』全六卷

外敷種 二 説明者 藤原登美郎

公開期日 當十七日方廿一日迄、毎六時開演

特等一圓、圓柱銀壹等一圓、貳等六十錢、三階卅錢

有樂座

全七呎

14443

大正七年五月廿七日

警務

第二課

甲保 第七年五月二十一日

警視總監岡田文次

外務次官幣原喜重郎殿

浅草電気館ニ於テ近日公開セラル
キ活動映畫ノ内容ニ関スル件
本件映畫ハ先般甲保第六八號ノ二
ラ以テ回答候通大坂方面ノ興行ヲ
以テ庸地ニ持歸リ候ニ付去ル十五再
調査ノ上聯合國民ニ不快ノ念ヲ起
サシムル嫌ヒアリト認メラル、場面(約文
。。。映ハ全部之ヲ切除セシメ興行不
可致置候就テ右興行ニ際シ不穩
當ナル文字ヲ使用セル新聞廣告アル
ヲ發見シタルニ依リ直チニ興行主ニ命
シ該部分ヲノ廣告ヲ差止メ尙將來
ニ對シテモ右趣旨ニ基キ戒告致置
候條此段及回答候也

西佛羅

次
富

清
今

文書課長

正七年六月五日

大正七年

五月二十八日起草

同
年

H

17

附

別紙

鐵甲

2000

主任
榮

主管政務局長

立兩邦

白耳義玉公使完

幫 爾 坎 友
彼 藤 大 臣

彼藤大兄

漢學彙館二於テ近日公衆

セラルキヲ戦時独逸ト題スル活動

映画ノ内容ニ関スル件

外務省

如左

以古報陳陸耳我陳志帶原外務次官

癸未月十七日附櫟密光翰ヲ以テ同日

板ヨリ有_レ木_二産_ニ於_テ公_ニ罷_セラ_レタル_ハ我_ニ時_ニ

独逸^ト題^{スル}活動映画ニ対スル寫下又

岑公使餽，抗議力諍，臺牘及牘

支店告第ニ掲載セラレ若ハ利用セラレタリ

件三、買之由申訴，起改敘承其右、果

迷冥保慶廳 及移牒並其堂令張

全皮履ヨリ本件映画ハ大改方面ノ興行ヲ終
 ヘ東京ヘ到着シタルニ付去ル十五日再調査
 上聯合会民ニ不快ノ念ヲ起サシムル様ヒア
 リト認メラルル場面(約千七百呎)ハ全部之
 ヲ切除セシメテノ興業ヲ許可シタル旨並右
 興行ニ係レ不穩当ナル文字ヲ使用セル特
 少廣告ハ亦今ニ興行主ヲシテ該部分ノ廣
 告ヲ差止メシメ尚將來ニ向テモ右趣旨ニ基
 キ興行主ヘ戒告ヲ与ヘ違キタル旨回答有之ヲ
 係右様成リ知ル半度此処因答申達受
 市本原小坂ノ事ニ付東京ノ南ノ教養系ニ来
 教員

外

Translation.

No.

文書課長



大正七年六月七日

機密

大正七年六月七日 發送

多摩洋行

佐野利雄

海軍省



Monsieur le Comte,

Tokio, le 30 Mai 1918.

78
27 Jun

15/20/21 (Mai) 123

J'ai l'honneur d'accuser à Votre Excellence réception de

sa note confidentielle en date du 17 courant qu'Elle a bien voulu

m'adresser à Monsieur Shidehara, Vice-Ministre des Affaires Étrangères

au sujet du fait que l'intervention de Votre Excellence et celle de

la Légation de Belgique en matière de films cinématographiques intitulés

" Behind the Enemy's Lines " et ^{montrés} qui s'est présentée au public au Théâtre

" Yûraku-za " à partir du 17 dernier, a été publiée tant dans le Jour-

nal " Yomiuri Shimbun " que dans les réclames de certains journaux, ou

exploitée par ces dernières.

L'Autorité compétente, saisie immédiatement de cette affaire,

vient de me faire savoir que les films en question étant parvenus à Tokio

après avoir été ^{exhibés} joués à Osaka, elle a donné, après enquête faite de

nouveau le 15 ^{mai} courant, l'autorisation de sa représentation, en faisant

retrancher toutes les parties (dont la longueur est environ

de 1,700 feet) du film reconnues comme donnant l'impression

désagréable aux ressortissants ^{des} ~~des~~ Pays alliés et qu'en même

temps elle a fait interdire immédiatement ^{par} ~~le~~ directeur de la

représentation cinématographique de faire ^{toute} ~~de la~~ réclame conte-

nant des mots ^{les convenables} ~~convenables~~ pour ladite représentation et que d'ail-

leurs elle lui a donné, dans cette intention, des avertisse-

ments pour l'avenir.

En Vous informant de ce qui précède, je saisis cette

occasion pour Vous renouveler, Monsieur le Comte, les assurances

de ma haute considération.

du Vic-
(Signature de Ministre.)

Son Excellence

Monsieur le Comte della Faille,

Envoyé &c., &c., &c.,

de Belgique.

5-1254

0149

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

政務局長

「我姑狹遠」卜題之活動

映畫、内容、実在件

本件、要シ大正七年五月十日故テ視
廳ニ檢閲課長ヲ訪ヒ白土公使來朝
(五月十七日附)、趣旨ヲ傳ヘタルニ對シ
今課長ヨリ小官ヘノ言明、要欲在、如

外務省

2

幾少廣告中、問題トナリ、云々、又

句ハ既ニ削除スル様興行主ハ敢命

活ミナリ又讀賣物方ニ白玉公使

ヨリ抗張アリタリ云々ノ記事ハ有樂

産側ヲ油ヒタルモノト推定せう

市件「ア、イ、ロ」七千呎中独逸力修房

ヲ踏ムル点及至、他聯合至側ニ

有市座へ
お参りした
りぬに御意
々に存す
此へ戻すに
お参りした
りぬに御意
々に存す

不快ノ感ヲ与フルカ如キ諸君ハ必テ
不許可トシ約二千呎ヲ削除セリ 尚
昨秋(五月十七日)本件映画ノ説明
ヲ聴キタル監検官ノ決ニ依リ「辯論
ノ説明ハ頗ル慎重ナリト云フ」云々
市官ハ遂ニ公文ヲ以テ自公使來
訪ノ趣旨ヲ解釋スヘキ事ヲ檢閲
課長ニ送ヘテ引取りタリ

外務省